



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第5号

2004. 5. 1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県芸北町にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

も く じ

お知らせ

- 高原の自然館が開館
- 第4回臥竜山麓自然再生事業検討協議会の議事録が公開
- 芸北 田園空間博物館宣言セレモニーが開催
- 高原の自然史 第9号 発売
- 芸北まるごと博物館 (DVD) 発売

活動報告

- 湿原再生プロジェクト 実験地の設置作業

観察会案内

- 春のブナ林の動植物
- 原生林バードウォッチング

花だより

- オオカメノキ (ムシカリ)
- ウワミズザクラ
- ミヤマカタバミ

お知らせ

高原の自然館が開館しました (2004.4.25)
冬季閉鎖期間が終わり、開館しました。今シーズンもよろしくおねがいします。

第4回臥竜山麓自然再生事業検討協議会の議事録が公開されました (2003.4.5)

二川キャンプ場付近の生態系を復元し、湿原を再生させる「臥竜山麓自然再生事業」の第4回検討協議会が2004年3月2日に広島県庁で開催されました。議事録は広島県のホームページでご覧いただけます。

広島県：議事録：<http://www.pref.hiroshima.jp/kaigi/gijirokuindex.html>

芸北 田園空間博物館宣言セレモニーが開催されました (2004.4.24-25)

芸北町が取り組んできた田園空間博物館事業の成果として、4月24日・25日の2日間にわたって宣言セレモニーが開催されました。高原の自然館もこの事業の一環として造られたものです。セレモニーの中では劇団ふるさときゃらばんの作・脚本・演出を手がける石塚克彦さんに記念講演をしていただきました。石塚さんは、たくさんの地方を回って田園風景をご覧になっており、具体的なお話をいろいろと聞くことができ、予定時間では足りないくらいでした。



芸北の自然が

まるごと

DVDに

なりました！

予約受付中

価格：2500円

(2004年5月15日 発売予定)

広島県山県郡芸北町
芸北まるごと博物館

発行：高原の自然館

お問い合わせ：芸北町民文化ホール
〒731-2552
広島県山県郡芸北町川小田 74-54
tel. 0826-35-0070 fax. 0826-35-0079

DVDをご利用頂くためには、DVDプレーヤーまたはDVDの再生機能を搭載したパーソナルコンピュータが必要になります。
収録した種はすべて芸北で見られるものですが、収録映像は中国地方全域で取材・撮影したものを使用しています。
収録されている映像に関する著作権はすべて広島ホームテレビおよびテレビ朝日映像に帰属します。

- ◎ 芸北町に生育する生き物全183種（植物57種・昆虫65種・魚類12種・鳥類41種・両生類8種）を収録しました。
- ◎ 分類別の検索画面で、見たい種を簡単に検索できます。
- ◎ すべての種の映像に加え、特徴をわかりやすく解説しました。また、生息環境が一目で分かるように各環境をアイコンで示しました。
- ◎ 映像だけを続けて見ることができ、BGV（バックグラウンドビデオ）としてもご利用いただけます。
- ◎ この他にも、芸北町の概要や見どころ、生息環境に関する解説も収録しています。

<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/>



西中国山地の自然に関する最新の知見を美しい写真とともにお届けする「高原の自然史 第9号」が発行されましたのでご紹介します。この本は、芸北町が進めている「全町自然博物館構想」の一環として刊行されています。自然保護や学術研究の資料、情報源としてご利用ください。第9号の内容は次のとおりです。

芸北町田園空間博物館の展開

広島県田園空間博物館整備地方委員会

芸北町の植物に関する文献目録

吉野 由紀夫

「広島市・太田川源流の森」における土壌動物相 -二次林と人工林の比較

頭山 昌郁・和田 秀次・山本 和志

広島県の淡水魚類相の特徴

平山 琢郎

西中国山地におけるソウシチョウの生息状況

上野 吉雄・荒木 信・小柴 正記・日比野 政彦

広島県加計町温井ダム流入支流におけるカワネズミの生息の確認と捕獲法

桑原 一司・松田 賢・小倉 久和・岩水 正志

価格 2,500 円（会員価格：1,750 円）

バックナンバー

第1号 6,000 円（会員価格：4,200 円）

第2号 2,500 円（会員価格：1,750 円）

第3号 2,000 円（会員価格：1,400 円）

第4号 2,000 円（会員価格：1,400 円）

第5号 2,000 円（会員価格：1,400 円）

第6号 1,500 円（会員価格：1,050 円）

第7号 1,500 円（会員価格：1,050 円）

第8号 1,200 円（会員価格：840 円）

1-4号および箱のセット

10,000 円（会員価格：8,750 円）

購読制度の廃止と会員価格の設定

苅尾電波塔 第4号で、購読会員制度についてお知らせしましたが、バックナンバーも含む全ての号について「会員価格」を設定しました。これにより、西中国山地自然史研究会の会員であれば、すべての高原の自然史を3割引で購入いただけるようになりました。

今後とも「高原の自然史」をよろしくおねがいします。

なお、割引価格での販売は、会員お一人様につき各号とも1冊のみとさせていただきます。

活動報告

湿原再生プロジェクト 実験地の設置作業

開催日時：4月18日（日）10:00～16:00

集合場所：高原の自然館

主催：西中国山地自然史研究会

協力：高原の自然館、芸北町民文化ホール

2004年度の活動は湿原再生プロジェクトからはじまりました。失われた湿原生態系を再生するために私たちが始めた活動も、今年で3年目になり、昨年度からは広島県の「臥竜山麓自然再生事業」として発展的に拡大しました。これまでは主に現状を記録する調査を行ってききましたが、今年度は「実際に施行を行って湿原を復元することは可能なのか？」ということを探るために、実験地を設置し、追跡調査を行っていきます。

湿原の成立には水が必要です。地面から水がわき出すような山裾や谷底では自然の湿原ができますが、このような環境をつくり出すには非常に大きな労力が必要となりますし、確実にそのような環境がつかれるのかどうかという点において、多くの不確定な要素があります。一方、湿原ができるのは湧水のある場所だけではなく、流れてきた水が溜まるような場所にも見られます。

そこで、今回は柵田のように水をたたえた場所を創出することを試みます。今回は、その実験地を設置するという重要な作業を行いました。土木的な作業を伴うので、事前にプロの方（地元の藤原さん、かりお茶屋のご主人でもあります）に相談に乗って頂きました。現地を見ながら協議した結果、牧場造成時に造られた水路を決壊させて、斜面全体に水をまわす方法が良いのではないか、ということになりました。藤原さんには水路を決壊させるために重機を使った施工もしていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

さて、いよいよ当日。当初の申し込みよりも多くの方が集まりました。サクラやコブシが咲き、快晴の山歩きにはもってこいの日でしたが、山歩きではなく、自然再生の作業を選ぶ人がこれだけいることを頼もしく思いました。一日心地よい汗を流して小さな柵田(?)ができました。土嶽を通る時には、ぜひ水を確認してみてください。



平日の早朝から力を貸して頂きました。また、事前に現地を見ながら貴重なアドバイスもいただきました。



アカマツの間から水路決壊の開始です。人の力ではとても掘れないような粘土質も掘っていきます。



今回も現地での主旨説明からはじまりました。



はじめに、土嚢を作って水流をせき止めます。



等高沿いにひたすら掘り進みます。しだいに効率が上がったのにはビックリでした。



次々に土嚢が投げ込まれます。



いよいよあぜ波を設置、水を流していきます。もれる所は補修し、流れないと掘ったりして調整しました。



続いて水路を作っていくのですが、齋さん提供の水準器が大活躍でした。いやはや、齋さんに感謝です。



水が行き渡った時にはちょっと感激でした。最後までおつかれさまでした。

観 察 会 案 内

春のブナ林の動植物

3月が異常なほど暖かかった2004年の春ですが、苅尾のブナ林はどんな様子になっているのでしょうか？まだ瑞々しい新緑のブナ林で、植物や野鳥を観察しながら歩きます。

開催日時：5月9日（日）10：00～
講師：暮町昌保・斎藤隆登・佐久間智子・内藤順一
集合場所：高原の自然館
準備：山を歩ける服装、弁当、雨具、双眼鏡、ルーペ、図鑑、メモ等
定員：30名（必ず予約をしてください）
参加料：1,000円（ただし、会員は無料）

原生林バードウォッチング

初夏のブナ林では夏鳥たちがやってきて巣作りをはじめています。冬の間、東南アジアに渡っていたアカショウビンがやってくるのもこのころです。

開催日時：5月15日（土）5：00～
講師：上野吉雄
集合場所：臥竜山 雪霊水付近
（高原の自然館ではありません）
準備：山を歩ける服装、弁当、雨具、双眼鏡、図鑑、メモ等
定員：30名（必ず予約をしてください。）
参加料：1,000円（ただし、会員は無料）

花 だ よ り

サクラとコブシの花も散り、苅尾の山頂部はブナの展葉で新緑色に埋まっています。湿原ではバイケイソウが新芽を出して、その存在を主張しています。夏目前です。

【オオカメノキ（ムシカリ）】

芸北では落葉樹林下に咲くため、風衝地のものに比べてやさしい樹形になります。

【ウワミズザクラ】

コップ洗いのブラシのように付く花序が特徴的な花。沢浴いなどに多いようです。実はツキノワグマが好んで食します。

【ミヤマカタバミ】

春のブナ林の林といえば思い出す花のひとつ。苅尾の林道沿いにたくさん見られます。

－ インターネット版苅尾電波塔の紹介と購読移行のお願い－

苅尾電波塔はインターネットを利用したe-mailでも発行されています。印刷版と同じ情報が毎月あなたのメールアドレスに届きます。さらにe-mailなら、関連ホームページを見たり、そのまま返事することで観察会の申し込みができたり、とっても便利です。パソコンでe-mailをお使いの方ならどなたでも無料で申し込みができます。まずは高原の自然館ホームページをご覧ください。

高原の自然館ホームページからは、苅尾電波塔（紙版）のpdfファイルをそのままダウンロードできます。郵送している紙版に比べ、鮮やかなカラー写真を見ることができ、ダウンロードしたファイルはご家庭のプリンタを使って印刷することもできます。そこで、高原の自然館では紙版（郵送）からインターネット版への購読移行をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。みなさまのご協力をお願いいたします。

【高原の自然館】<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/>

恥ずかしながら「新緑」が初夏を指す言葉だと最近まで知りませんでした。雪を押ししのけるようにやってきた春を見た後に映る新緑の景色は、確かに、夏を予感させます。5月は冬芽の中で過ごした葉が夏に向けて伸び上がる季節。歩くには良い季節ですね。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡芸北町東八幡原119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://town.geihoku.hiroshima.jp/nature/>
nature@town.geihoku.hiroshima.jp